

2026年度 長崎県バスケットボール協会 育成センター（DC）U12実施計画

（一社）長崎県バスケットボール協会 ユース育成委員会

1. 育成センターの目的

JBAホームページ掲載の「育成センターの目的および方法論」「都道府県育成センターガイドライン」を参照してください。

<https://www.japanbasketball.jp/training/youthacadmy/documents/>

2. ブロック分け

ブロック	対象地区（U12地区部会）※カッコ内は2026年1月時点の登録チーム数			
	男子		女子	
	計96		計88	
県選抜	県下全域		県下全域	
県北	佐世保(19) 県北(2) 壱岐(3)	計24	佐世保(16) 県北(2) 壱岐(3)	計21
県央	諫早・大村(15) 島原(8) 対馬(3)	計26	諫早・大村(12) 島原(8) 対馬(3)	計23
県南	長崎(30)・西海西彼(10)・上五島(4)・下五島(2)	計46	長崎(28)・西海・西彼(10)・上五島(3)・下五島(3)	計44

3. スタッフ（コーチ）

(1) 各ブロックごとの指導スタッフおよび総括責任者（一部調整中）

※新年度に変更の可能性があります

ブロック	役割	男子		役割	女子	
		県選抜	H C		谷口 譲 長崎市立戸町小学校	H C
	A C	浦田 優 緑丘ダークホース	A C	山越 翔陽 諫早市立御館山小学校		
	A C	小池 伸明 上山小学校	A C	中島 正博 北諫早小学校		
県北	H C	小門 裕 中里男子ミニバスケットボールクラブ	H C	吉岡智嘉子 祇園Legami		
	A C	森内 敏憲 花高プレイハーツ	A C	田淵 洋明 佐々町立口石小学校		
	A C	池田 季慶 NSBC	A C	岩佐 敦英 Rascals		
	A C	竹中 成次 佐世保市U12部会	A C	松尾 麗 Hasami Veltone		
県央	H C	中村 健太 ISAHAYA RED WAVE	H C	村田 洵 諫早市U12部会		
	A C	山田 史哉 布津MBC	A C	大木幸一郎 THS12		
	A C	塩塚 海人 島原第二小学校	A C	吉田 宗生 南島原市立深江小学校		
	A C	岩永 祐弥 竹松男子ミニバスケットボールクラブ	A C	中嶋 大樹 富の原小女子ミニバスケットボール		
県南	H C	川上 憲一 サンセツクラブ	H C	吉村 雅 城山女子ミニバスケットボールクラブ		
	A C	立川 宏樹 飽浦・小榊小学校	A C	泉田 健作 小江原SMILEYS		
	A C	山口 央 長崎ジュニア	A C	森本 竜也 西海西彼U12部会		
	A C	三谷 佑亮 長与町立洗切小学校	A C	佐藤 雄紀 上長崎小学校		
	A C	加藤 一成 長崎市立古賀小学校				
U12育成MG		松尾 久史 長崎市立小江原小学校				
全体	育成C	徳永 和裕 KOGAKURA	育成C	黒瀬 和子 Goto Blue Bee		

※2026年3月12日時点

(2) スタッフ及び役割について

- スタッフ陣は、H C（ヘッドコーチ）およびA C（アシスタントコーチ）にて編成する。
- 練習プログラムの作成、練習会での指導、事務業務等について、全スタッフが協力して行う。
※ スタッフは3名および4名編成を基本とするが、臨時的に補助スタッフを加えることがある。
※ 勤務先での異動等に伴い変更する場合がある。
※ 任期：2～3年（JBA基準では1年任期だが、特段の事情がない限り、原則複数年とする）
※ 若手指導者の育成の場とすることも目的の1つとする。

4. 活動計画（予定）

回	期 日	形 態	備 考
1	2026年4月18日(土)	1次選考（地区トライアウト）	各三地区ごとに開催 ※下記「選考(1)」
2	2026年5月16日(土)	2次選考（県選抜トライアウト）	1次通過者対象 ※下記「選考(2)」
3	2026年7月18日(土)	第1回練習会	追加選考選手を含む ※下記「選考(3)」
4	2026年8月22日(土)	第2回練習会	※県北：8月29日(土)
5	2026年9月19日(土)	第3回練習会 兼 3次選考（追加トライアウト）	※下記「選考(4)」
6	2026年10月31日(土)	第4回練習会	
7	2026年12月19日(土)	第5回練習会（合同）	県央および県南地区にて実施
8	2027年2月13日(土)	第6回練習会	一般コート・ルール・ボールを使用

- 1回あたり3時間を基本とする。

※2026年3月12日時点

- 原則、第3日曜（家庭の日）の前日（土曜）開催とするが、会場都合などによりブロックごとに異なる場合がある。
- 各地区および県の公式大会等の日程により、上記が変更となる可能性がある。
- 練習会場および開催時間：その都度決定し、県協会HP上で告知する。

5. 選手選考

県下のJBA登録チームに所属する選手（2026年度における6年生または5年生）の中から、以下の方法で選考を行う。

(1) 1次選考（地区トライアウト）＜4月＞

■ 各地区において所定人数（下表参照）を選考する。4月中に協会HPにて発表。

地区	対象地区（U12地区部会）			
	男子		女子	
		計60		計61
県北	佐世保 県北 壱岐	計15	佐世保 県北 壱岐	計14
県央	諫早 大村 島原 対馬	計16	諫早 大村 島原 対馬	計16
県南	長崎 西海・西彼 上五島 下五島	計29	長崎 西海・西彼 上五島 下五島	計31

- 本人の参加意思があることを前提とするため、トライアウト方式を採用する。
- 1次選考（地区トライアウト）は、DCブロック（三地区）単位での開催を基本とする。
- 各ブロックでは、上記人数に加え予備候補を15～20名程度選考する（発表は行わない）。→「(3)追加選考」参照
- 選手選考に際し、DCスタッフに加え、各地区部会から少なくとも1名以上の役員が加わることをとする。
- トライアウトに参加する場合、受益者負担の原則に則り参加費・交通費は自己負担とする。また、通過した場合は2次トライアウトに参加することとなり、その費用も同様とする。
- 前年度に5年生でDC選手として選出されていた場合も、今年度DCへの参加意思がある場合は、1次選考（地区トライアウト）に参加すること。
- 1次選考に申込みを行ったが、病気・怪我などで受講できなかった6年生は3次選考を希望することができる。
※下記(4)「3次選考(追加トライアウト)」の＜参加資格＞参照
- ◎ 上記にて1次選考を通過した選手は、下記2次選考に参加することとする。

(2) 2次選考（県選抜選手の選考）＜5月＞

- 1次選考通過選手を対象に県選抜DC選考会を開催。5月中に協会HPにて発表。
- **【男女各20名程度】**を選考する。県選抜DCスタッフを中心に、全DCスタッフで選考を担当する。
- 県選抜DCに選考されなかった選手は各地区DCで活動することとなる。→下記(3)へ
- 県選抜に通過しなかったことで地区DCを辞退する、ということは認められない。

(3) 追加（繰り上げ）選考 ＜5月＞ ※上記2次選考結果と一緒に発表する。

- 2次選考を経て地区DCに決定した選手に加え、1次選考の予備候補選手から順に繰り上げて選考する。そのため、DC活動に参加意思がある選手は必ず1次選考に参加することが条件となる。

→ その結果、各地区での活動人数は、以下の通りとする。（多少の増減あり）

【DC活動選手数】

男子	県選抜	活動人数	20	女子	県選抜	活動人数	20
	県北地区		20～25		県北地区		20～25
	県央地区		20～25		県央地区		20～25
	県南地区		30～40		県南地区		30～40
	合計		90～110		合計		90～110

(4) 3次選考（追加トライアウト）＜9月＞ ※地区DCのみ ※6年生のみ

- 1次選考以降に選手が大きく成長する可能性があることから、9月練習会にて3次選考を実施する。
- 上記(1)または(3)を通過しなかった6年生選手の中から、3次選考（追加トライアウト）への参加希望を募集する。
- 参加資格： ①1次選考に参加、または1次選考に申込みを行ったが病気・怪我などで受講できなかった6年生選手。
②1次選考以後にJBA加盟、または県外等から転入した6年生選手。
- 希望選手は9月練習会またはトライアウトに参加し、そのプレー内容から地区DCスタッフで協議して選考する。
- 同時に、地区DCから県選抜DCへの推薦も検討する。3次選考から直接県選抜DCへ推薦する場合もある。

(5) その他

- トライアウトは選手本人の意思で申込み可能だが、チーム指導者にも受講の意思を伝えておくこと。
- 地区DCから県選抜DCへの昇格推薦を、年度途中で検討する。上記(4)参照。

6. 選手の資格と参加について

- (1) 長崎県内のJBA登録チームに所属するJBA登録選手として活動していること。
- (2) 選手は、全国大会やそれに準ずる公式戦の予選等と日程が重複した場合を除き、チーム活動よりも育成センター（DC）の活動を優先すること。
- (3) 学校行事による欠席は認める（必ず事前にスタッフに連絡する）。
- (4) 1回の練習会につき、参加料【1000円】を徴収する。（受益者負担の原則、保険料は含まない。要・個人加入。）
- (5) ボールや飲料は各自で持参する。
- (6) 離島チームの所属選手に対して、全体予算に応じて交通費補助金を支給する場合がある。
- (7) 無断欠席、意欲が低い、スタッフの方針に従わない等、DC選手として相応しくないと担当指導者が判断した場合は、参加資格を取り消すことがある。
- (8) マルフアン症候群の選手は本事業に参加できない。
- (9) チームの指導者が故意的に選手の参加を妨げる場合はペナルティ（協会事業への参加制限など）を課す場合がある。

7. 指導内容

- (1) JBA技術委員会より提示されたJBA育成方針に基づいた内容で行う。
- (2) 勝つためのチーム作りではなく、個の育成を主眼とする。ポジションを固定しない。
- (3) コーチ研修会の実施（指導者対象の研修会を各カテゴリー合同で実施）。

8. その他

- (1) 県選抜DCは、他県との合同練習会（対抗戦含む）開催も検討する。
- (2) 次年度のU14DCへ、U13推薦選手として数名を推薦する場合がある。
- (3) 練習会での動画等の撮影は、指導内容共有、個人で利用する目的に限って許可するが、SNS・インターネットへの投稿・配信等は禁止する。選考会（トライアウト）については、一切の撮影を禁止する。

以上

長崎県育成センター（N-DC）育成方針・選手心得

心	<ol style="list-style-type: none">1 礼節があり、態度や行動が素直であること。2 苦しいとき、困ったときでも前向きに頑張れること。3 コミュニケーション力や協調性があること。4 感謝の気持ちを持ってプレイすること。5 現状に満足せず、向上心を持ち続けること。
技	<ol style="list-style-type: none">1 1対1の攻防を好み、イニシアティブをとれること。2 オフェンス力だけでなくディフェンス力があること。3 ファンダメンタルズがあること。 （フットワーク、パッシング、ドリブル、シューティング、ハンドリング能力）4 バスケットボールIQ（個人の戦術理解力）があること。 （瞬時にゲーム状況を読める、予測力、スペーシングの理解）5 速い攻防の中での状況判断力があること。
体	<ol style="list-style-type: none">1 トランジション能力（走る力、止まる力）があること。2 跳ぶ力、投げる力があること。3 あたり負けせず、コンタクトを好むこと。4 柔軟性に優れ、クイックネスがあり、体幹が強いこと。5 トレーニングや栄養・食事にも意識して取り組むこと。

<留意点>

- 1 学業との両立を図るよう努めること。
- 2 生活面など他の児童・生徒や選手の模範となるよう努めること。
- 3 県・地区の選抜選手として常に自覚を持った言動が取れること。
（自らの言動に責任を持つこと）
- 4 選抜選手としておごることなく、自チームでの活動においてリーダーシップを発揮すること。
- 5 マルフアン症候群の選手は、DC活動には参加できません。